

生の芸術 アールブリュット ArtBrut 展覧会Vol.3

さらに仮設団地で移動美術館も

「生の芸術 Art Brut 展覧会Vol.3」を下記の要領
で開催します。

展示は熊本在住の作家21人の約120点。国内外で高い評価を受けている作家から、今回初めて出品する作家まで、障害がある人々の個性あふれる作品群です。

この活動の「共に生きる」メッセージは、今年beyond 2020の認証を受けました。人吉市での移動美術館をはじめ、昨年の益城町、西原村に続き、今年は熊本市の仮設団地（集会所）でも移動美術館を開くことにしました。観覧はいずれも無料です。



荒木 聖憲「ムーンライト」

■生の芸術 Art Brut 展覧会Vol.3

【日時】平成29年10月3日（火）～15日（日）

9：30～17：15（入館は16：45まで）

※休館日 10日（火）

【場所】熊本県立美術館講堂（熊本市中央区二の丸2）

- ・キュレーター 真武真喜子 インディペンデントキュレーター
- ・空間企画 坂崎隆一 インスタレーションアーティスト

■生の芸術 Art Brut 移動美術館

①クラフトパーク石野公園（人吉市赤池原町1425-1）

【日時】平成29年11月8日（水）～14日（火）

②熊本市仮設団地内 みんなの家（城南町予定）

【日時】平成29年12月8日（金）～9日（土）



内野 貴信「パン君ショーの猿と犬と鳥と竹馬とスーパーカー」

主催：アール・ブリュット（生の芸術）パートナーズ熊本 ーヤマト福祉財団事業ー

共催：熊本県立美術館、社会福祉法人愛隣園

ー厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業ー

後援：熊本県、熊本市

くまもとハートウィーク協賛

【お問い合わせ】

アール・ブリュット パートナーズ熊本 事務局
愛隣館 担当：三浦・納富・堀田・久武

TEL：0968-43-2771 FAX0968-43-2793

MAIL：ailinkan@magma.jp

★「アール・ブリュット Art Brut」って何？

「生の芸術」という意味のフランス語。

Art : 芸術 Brut : ワインなどが生のままであること

フランスの画家ジャン・デュビュッフエが提唱した概念で、正規の美術教育を受けていない人(障害者ら)が自発的に生み出した、既存の芸術に影響を受けていない絵画や造形のこと。

★「アール・ブリュット (生の芸術) パートナーズ熊本」とは？

2013 (平成25) 年12月から翌年2月まで開かれた「アール・ブリュット・ジャポネ展」(熊本市現代美術館)をきっかけに14年1月発足。

障害のある人たちの芸術活動を推進するため、表現して生きる環境づくり、評価を受ける機会づくり、芸術・福祉・教育・行政などのネットワーク構築などの活動によって、障害のある人たちの自立と社会参加を促進し、共生社会の実現を目指す団体です。会員は約160人、登録作家は48人(2017年9月)。具体的には以下の活動を行っています。

- ① 展覧会・移動展覧会の企画
- ② 作家、作品の調査と発掘
- ③ 相談窓口の設置
- ④ ネットワークづくり



松本 寛庸「アール・ブリュットスター」



藤岡 祐機「無題」



駒田 幸之介「無題」



山口 秀隆「特急A列車で行こう」